

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- 日本語によって書かれた文章等について、その内容を的確に理解する力。
- さまざまな場面に応じて、適切に表現する力。
- 言葉や伝統的な言語文化に興味をもち、理解を深めようとする態度。

2 年間学習計画と単元(題材)

学期	月	単元名	内容	達成目標(ねらい)
1 学 期	4	【漢字(通年)】 【豊かに想像する】	○岩が(詩) ○握手(小説)	[思]ことばの効果的な使い方など、表現の工夫に注意しながら読む。 [判]場面設定の仕方や登場人物の描かれ方を読み取り、その人物像を的確に捉える。
	5	【漢字】 【言語】	○漢字 ○グループディスカッション ○辞書の語釈	[知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [主]合意形成に向けて話し合いを計画的に進める。 [主]辞書を使って解釈の仕方を学ぶ。
	6	【わかりやすく伝える】 【課題作文】 【ものの見方・感性を養う】	○間の文化(評論) ○作文を書く ○俳句の世界	[思]論理の展開の仕方に注意して、筆者の主張を読み取る。 [表]条件に応じて説得力のある文章を書く。 [思]俳句のきまりや特徴を理解して、作品の内容を捉える。 [表]それぞれの作品についての意見や感想、評価を活発に交流できるように進行の仕方を工夫する。
	7	【漢字】	○句会をひらこう ○漢字 ○和語・漢語・外来語	[知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [知]和語・漢語・外来語についての理解を深める。
			○批評文	[表]観察・分析を通して評価する。
2 学 期		【ことばを磨く】 【漢字】 【ことばを磨く】	○表現につながる文法 ○漢字 ○希望(随想) ○私の読書体験	[知]ことばの選び方による伝わり方や与える印象などの違いについて考え、語感を磨く。 [知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [主]目的に応じて本を読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりする。
	9	【論理的に考える】	○フロン規制の物語(論説) ○読み方を学ぼう(小見出し) ○パブリックスピーキング ○漢字	[思]文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについてその意図や効果を捉える。 [主]社会生活の中から話題を決め、経験や知識を整理しながら、表現を工夫し、説得力のある発言を工夫する。
	10	【漢字】 【古典に学ぶ】	○和歌の世界(古文) ○おくの細道(古文) ○論語(漢文) 「漢文の読み方」 ○漢字のしくみ、慣用句・ことわざ・四字熟語	[知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [思]和歌に詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 [思]歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。 [思]漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 [知]慣用句・ことわざ・四字熟語などについての理解を深める。
	11	【情報を関係づける】	○情報社会を生きる ○広告の読み比べ ○敬語の機能と敬意表現 ○観察や分析を通して、判断する批評文	[知]文章中における語句の効果的な使い方を捉える。 [思]文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価する。 [主]敬語の機能と敬意表現についての理解を深める。 [知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [知]取材や分析を通して課題に対する自分の立場や考えを定め、論理点が明確な文章構成を工夫して書く。
	12	【漢字】 【読みを深め合う】	○漢字 ○初恋(詩) ○故郷(小説)	[知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [思]詩の形式をふまえて朗読し、描かれている思いを捉える。 [思]場面や登場人物の設定の仕方を捉え、内容の理解に役立てる。
		【書写】 【漢字】	○楷書・行書、書き初め ○漢字	[知]楷書と行書の筆使いの違いに慣れる。 [知]漢字の読み書きについての理解を深める。

3 学 期	1	【視野を広げる】	○「文殊の知恵」の時代 (論説) ○坊っちゃん(小説)	[思]筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解する。 [知]語句の使われ方に注意して読み、表現の仕方について評価する。
	2	【漢字】	○漢字 ○歌の言葉「さくら」(独唱)	[知]漢字の読み書きについての理解を深める。 [知]言葉のもつ力への認識を深める。
	3		○中学生生活を振り返って 名言集	[主]聞き取った内容を判断したり評価したりして、自分のものの見方や考え方を深める。

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	○語句・文法・古典・書写等についての理解を深めるとともに、知識を身に付けている。 ○中学3年までに学習した漢字が読め、ほぼ書けている。	定期考査・小テスト・朝学習漢字テスト・書写作品・暗唱テストなど
思考・判断・表現	○自分の意見を適切な内容・方法で表現している。 ○相手の発言等を注意して聞き取っている。 ○話題や話の流れをとらえて発言している。 ○課題に応じて、自分の意見や考えや感じたことをまとめてわかりやすく表現している。 ○文章の内容を的確に読み取ることができる。 ○読み取った内容から、ものの見方や考え方を広げている。	定期考査・発言・スピーチ・聞き取りテスト ワークシート・意見文や感想文・レポート 音読・暗唱テスト・ワークシートなど
主体的に学習に取り組む態度	○授業の準備ができている。 ○私語等をせず、真剣に授業に取り組んでいる。 ○課題に意欲的に取り組んでいる。 ○提出物をきちんと仕上げ、提出している。	授業態度・忘れ物・自己評価・ワークシートなど

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・忘れものをしないようにし、授業前の休み時間に教材準備をする習慣をつけよう。
- ・黒板に書かれたことは、きちんとノートに写そう。
- ・朝学習に真剣に取り組もう。
- ・宿題や提出物は、必ず期限までに提出しよう。
- ・自分の言葉で考えをまとめ、積極的に表現し、他者へ伝えよう。
- ・友達をはじめ、身の回りの人の言葉や価値観から学び、伝え合う姿勢を大切にしよう。
- ・自分の心情や価値観の変化に気づき、言語化できるようにしよう。
- ・書き言葉と話し言葉をしっかりと区別し、丁寧かつ正確に文字や文章を書くことを心がけよう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・漢字練習を継続して行おう。
- ・わからない言葉があったら辞書を引く習慣を身に付けよう。
- ・単元が終了したら、ワークの問題を解いて復習しよう(誤答やわからない問題は、必ず解決しよう)。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・漢字は何回も書いて、正確に覚えよう。
- ・教科書の内容を理解しながら、何回も読もう。
- ・ノートやワークシートを見直したり、ワークを何回もやり直したりして、授業内容を理解しよう。

7 入試に向けたアドバイス

- ・漢字は中学で学ぶものを完全にマスターしましょう。それには、必ず何回も書いて覚えることです。
- ・文章をすらすらと読めるようにしましょう。理解していなければ、すらすらと読むことはできません。逆に、すらすら読めるようになると、理解も追いついてきます。
- ・毎日の時間の使い方、学習計画の立て方、効果的な学習方法を模索し、自分なりのやり方を身につけていこう。友達とも、学習の工夫ややり方について情報交換して参考にするとよい。
- ・ワークや過去問を解くときに、問いに対する答え方に気を付けましょう。それには、問題文をよく読みましょう。
- ・過去の入試問題に取り組み、難易度や出題傾向を把握しておきましょう。その上で、まずは基礎を固めることが必要です。試験が近づいてきたら、本番と同じ形式で問題を解く練習をくり返しましょう。